令和３年度　学校経営の方針

松阪市立第四小学校

（経営方針）
学校・家庭・地域が一体となり、子ども一人ひとりが心身ともに健康で安心して生活でき、「楽しい学校」づくりに主体的に取り組める「地域とともにある学校」をめざす。

地域・学校の目標（共有）

楽しい学校とは・・子どもが中心であり、子どもが主体的に行動する学校。自分たちの手で一人ひとりが楽しい学校を作っていく。今よりももっと楽しい学校になるために、友だちの考えを聴き、自分の思いを伝え、自分で考え、判断・決定し、行動していく。職員は子どもから学ぶことを大切にし、家庭・地域も同じ目標を持って一体となり、「楽しいみんなの学校」を作っていく。

松阪市立第四小学校　学校教育目標

「みんなでつくる楽しい学校」

積極的な取組

積極的な取組

（第四小学校めざす子ども像）
・主体的に学び、行動する子ども（自立）
・他者と支え合い、社会をつくっていく子ども（共生）
・進んであいさつができ、感謝の気持ちがもてる子ども

「学校・家庭・地域が一体」となって、目指す子ども像に向けて同じ目標を持ち、「役割分担」をしながら

それぞれが「主体的」に取り組みます。　　相互補完

地域

学校

（地域）
・子どもたちの見守り、居場所づくり
・学校支援ボランティアによる取組
（コアラの会、学習支援、宿題サポート等）
・住民協議会、公民館等による子ども向けの活動
・民生児童委員と学校との連携

○教師の指導力向上（授業研究・校内研修の推進）
→ICT 教育の保護者への啓発。授業参観での活用→保護者も活用できるタブレット
○幼小中の連携
○学校の情報の積極的な発信
○児童会、委員会、学級会等主体的な活動
○総勤務時間の縮減の目標や取組内容
・時間外労働月平均 21.3 時間以下
・年 360 時間を超える時間外労働時間者数 0 人
・月 45 時間超労働者 0 人　・年 20.2 日年休取得
・会議時間の短縮（60 分以内）・木曜日定時退校日

（めざす学校像）
・主体的な学びを創造する学校
・健康で安心して生活できる学校
・「おはようございます」「ありがとう」がいっぱいの学校